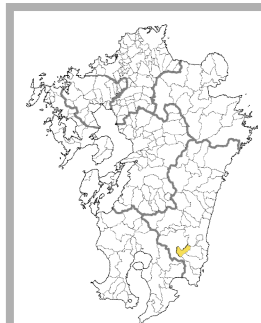


## 三股町(宮崎県):くいまーる

### 町の直営による巡回型の通学・生活支援バス

人口	24,545 人	モード	コミュニティ バス
面積	110.01 km <sup>2</sup>	法令	道路運送法 第 78 条
人口 密度	223.11 人/km <sup>2</sup>	運営 主体	三股町



#### ■ 取組の背景

##### 地域と交通の状況

##### 【事業者から廃止の申し出】

- 三股町では、赤字路線バス(宮崎交通)に対する助成金負担の増大する中で、同路線バス撤退の申し入れに伴い町民の足の確保のため、廃止代替バスとしての町内巡回バスが必要となっていた。

##### 活用メニュー(制度・協議会等)

##### 【道路運送法に基づく地域公共交通会議】

- 道路運送法に基づく地域公共交通会議を経て、平成 19年4月より、三股町が自家有用償旅客運送者として、コミュニティバスの運行を開始した。

#### ■ 実現したサービス

##### サービス内容

##### 【路線設置】【ラッピングバス】

- 三股町内全域を運行区域として、全 5 コースを設定。うち 2 コースは中学生の通学支援を主目的に毎日運行の朝夕型、3 コースは集落と町中心部を結ぶ生活支援を主目的とし、毎日ではなく週 1~3 日運行(運行日には 1 日 5 往復)。
- バス車両には、公募による名称「くいまーる」の文字をラッピングデザイン。
- 運賃は 1 回 100 円。
- 1ヶ月乗車フリーバス券は 2,000 円であり、家族購入の場合は 2 人目は 1,000 円。
- 新型の 37 人乗りバス(路線バス仕様) 2 台導入。

## ■ 効果と負担

### 効果

#### 【利用者利便向上】

- ・ 利用者からは、宮崎交通の路線バス時代は、隣接する都城市へ行くのに便利な路線であったのに比べ、木目細かくコース設定したことにより、通学や通院、町内の買い物などが利用しやすくなったとの反響がある。

#### 【市町村財政負担軽減】

- ・ 路線バスの赤字への助成金は、県と町で約 2,200 万円/年(うち町負担は約 1,600 万円/年)であったが、現状の町単独負担はこれを下回る見込み。

### 負担

#### 【市町村負担】

- ・ 月間収入はフリーパス券収入が 4~5 万円程度、運賃収入が 7~8 万円程度で合計 10 万円強。
- ・ 支出として 90~110 万円程度かかっているため、80~100 万円程度を町が負担している。
- ・ バスの運行は、直営のため、5 名の運転士をパート雇用しており、1ヶ月約 50 万円の賃金を支払っている。

## ■ プロセスと調整

### 行政改革推進本部(自治体内部)

#### 【プロセス:体制構築】

- ・ 路線バスの赤字への助成金負担の増加が町財政上の課題であったことから、路線バスに代わる町内巡回バスについて、三股町行政改革推進本部の下、「町内循環バス運行に関する分科会」が設置され、年間 16 回に及ぶ分科会開催により議論され町長を含めて大きな課題と認識された。

### 自治体独自の「地域バス再編検討委員会」

#### 【プロセス:体制構築】

- ・ 行政改革推進本部の分科会での検討の後、三股町独自の検討体制として「地域バス再編検討委員会」を設置し、利用者ニーズ等を踏まえつつ、地域バス再編計画書案を策定。

### 利用者アンケート実施 【コミュニケーション:対利用者】

- ・ バス利用者や施設利用者、中学生などを対象にアンケートを実施するとともに、地区毎(9 地区)での座談会を開催するなど、利用者のニーズ把握や、検討案に対する住民意向の反映に努め、これら基に、通学目的のコースや、生活支援のためのコース設定を計画した。

### 愛称、イメージキャラクターの公募

#### 【コミュニケーション:対住民・利用者】

- ・ コミュニティバスの愛称「くいまる」やイメージキャラクター「じゃんかん君」は、広報を通じて町民に公募して決定した。公募当時、町民からの反響は大きかった。

#### 主要検討経過

- ・ 平成 16 年 5 月 三股町行政改革推進本部 専門部会にて、巡回バスについて協議
- ・ 平成 16 年 6 月 同専門部会の下に「町内巡回バス運行に関する分科会」設置(H17 年 8 月まで計 16 回開催)
- ・ 利用者アンケート実施
- ・ 平成 17 年 7 月 行政改革推進本部会議に「路線バス見直しに関する報告書」提出
- ・ 平成 18 年度 「地域バス再編検討委員会」設置
- ・ 平成 18 年 11 月 「地域バス再編計画書(案)」策定、バス愛称・キャラクター公募
- ・ 平成 19 年 1 月 愛称・キャラクター決定
- ・ 平成 19 年 1 月 地域公共交通会議開催
- ・ 平成 19 年 4 月 運行開始

## ■ 創意工夫・知見・教訓

### ダイヤ、ルート設定への要望の十分な聞き取りが必要

#### 【教訓:利用者ニーズの事前調査】

- ・ 路線設定にあたっては、事前に住民の要望を聞いて設定したが、通学を主目的とするコースは朝夕だけのダイヤ設定となっており、未だ路線についての要望が多い。事前の利用者要望の聞き取りを十分に行なうことが必要である。

## ■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：三股町役場総務企画課 電話 0986-52-1111

参考 URL：広報みまた [http://www.town.mimata.miyazaki.jp/html/pdf/200702\\_04-05.pdf](http://www.town.mimata.miyazaki.jp/html/pdf/200702_04-05.pdf)

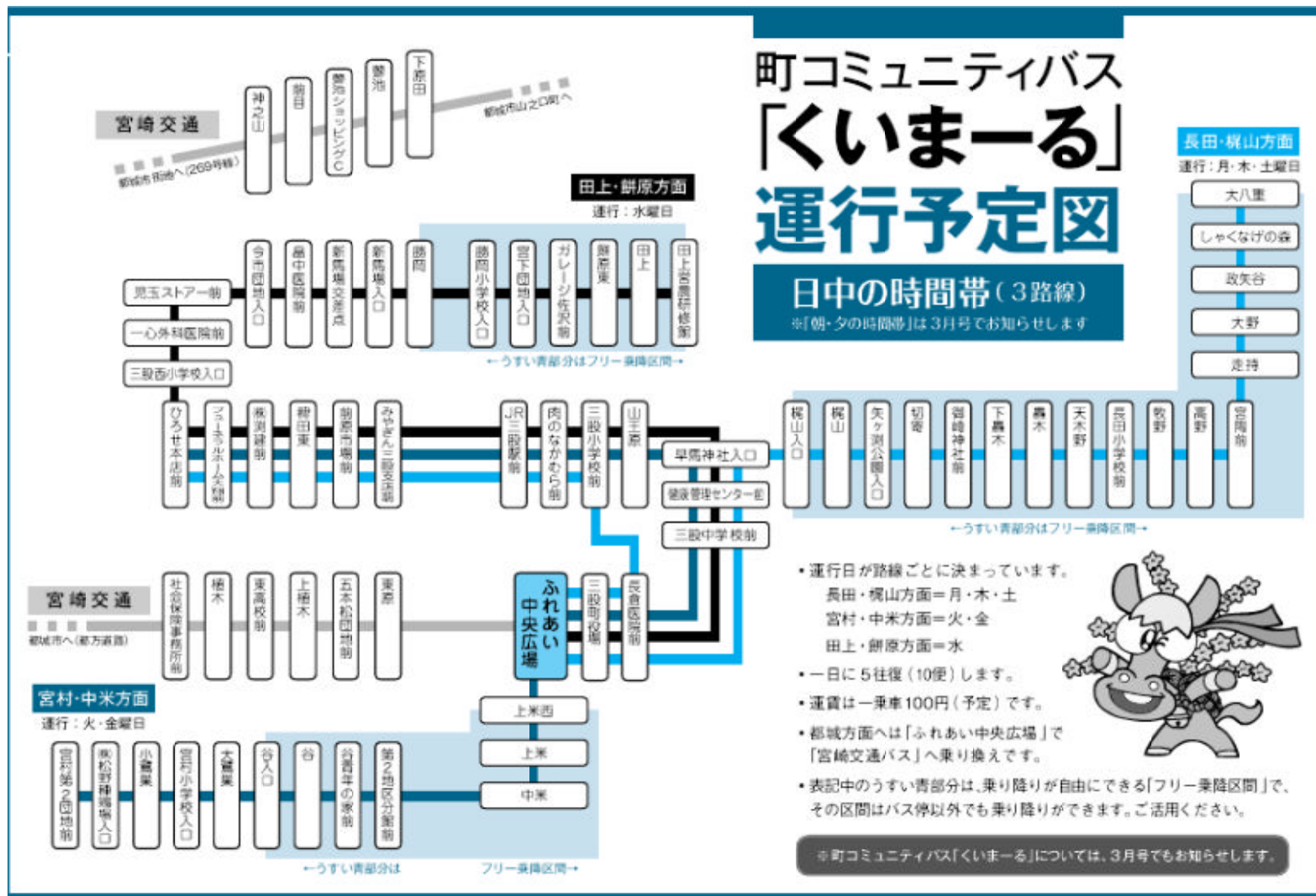


図. 路線図

出典：三股町資料

## ■ 資料編

表. 利用人数と収支

## 利用人数の推移(平成 19 年度)

	主に通学支援		主に生活支援			臨時便	(人)
	Aコース (長田・蓼池)	Bコース (前目・植木・宮村)	Cコース (長田・梶山)	Dコース (宮村・樺山)	Eコース (田上・勝岡)		合計
4月	872	69	489	50	68	45	1593
5月	1040	169	295	53	86		1643
6月	1090	270	349	60	47		1816
7月	763	197	317	53	61		1391
8月	258	26	461	54	87		886
合計	4023	731	1911	270	349	45	7329

## 収支の推移(平成 19 年度)

(円)

	内訳	4月	5月	6月
収入	フリーパス券代	37,000	52,000	41,000
	運賃収入	82,700	70,200	77,200
	計	119,700	122,200	118,200
支出	賃金			
	運転手賃金	545,000	521,250	517,750
	事務員賃金	155,975	148,750	167,875
	需要費(燃料代)	173,553	162,339	184,800
	使用料・賃借料(家賃)	30,000	30,000	30,000
	その他	45,675	294,586	40,270
	計	950,203	1,156,925	941,695

出典：三股町資料